

### 中3 11月実力テスト 解答と解説

---

1 [解答] 1. (1) 11 (2)  $-\frac{3}{5}$  (3)  $2\sqrt{3}$  (4)  $-1$  (5)  $\frac{32}{3}\pi \text{ cm}^3$

2.  $x = \frac{5 \pm 3\sqrt{2}}{2}$  3.  $\frac{1}{2} \leq y \leq 3$  4.  $70^\circ$  5.  $84\pi \text{ cm}^3$  配点：1：3点×5, 2～5：4点×4

1. (1)  $3 - 4 \times (-2)$   
 $= 3 + 8$   
 $= 11$

(2)  $\frac{7}{15} \times (-3) + \frac{4}{5}$   
 $= -\frac{7}{5} + \frac{4}{5}$   
 $= -\frac{3}{5}$

(3)  $\sqrt{27} + \sqrt{3} - \sqrt{12}$   
 $= 3\sqrt{3} + \sqrt{3} - 2\sqrt{3}$   
 $= 2\sqrt{3}$

(4)  $-a^2 - 2a - 1$ を因数分解する。  
 $-a^2 - 2a - 1 = -(a^2 + 2a + 1)$   
 $= -(a + 1)^2$   
ここで $a = -2$ を代入する。  
 $= -(-1)^2$   
 $= -1$

(5) 球の半径は2cmになるから求める球の体積は

$$\begin{aligned} \text{(体積)} &= 2 \times 2 \times 2 \times \pi \times \frac{4}{3} \\ &= \frac{32}{3}\pi \end{aligned}$$

$$2. \quad (2x - 5)^2 = 18$$

$$2x - 5 = \pm 3\sqrt{2}$$

$$2x = 5 \pm 3\sqrt{2}$$

$$x = \frac{5 \pm 3\sqrt{2}}{2}$$

$$3. \quad \text{関数 } y = \frac{3}{x} \text{ で}$$

$$x = 1 \text{ のとき } y = 3$$

$$x = 6 \text{ のとき } y = \frac{1}{2}$$

となるので、求める変域は

$$\frac{1}{2} \leq y \leq 3$$

4. 右の図のように、直線  $l$  に平行な直線  $n$ ,  $n'$  をひく。

$l \parallel n$  より、錯角は等しいから

$$\angle a = 20^\circ$$

$n' \parallel m$  より

$$\angle d = 40^\circ$$

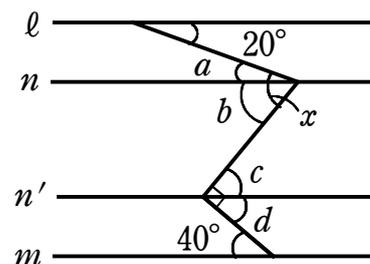
よって  $\angle c = 90^\circ - 40^\circ = 50^\circ$

$n \parallel n'$  より

$$\angle b = \angle c = 50^\circ$$

したがって

$$\begin{aligned} \angle x &= 20^\circ + 50^\circ \\ &= 70^\circ \end{aligned}$$



5. できる立体は、

底面の半径が 6 cm, 高さが 8 cm の円錐から、

底面の半径が 3 cm, 高さが 4 cm の円錐を

取り除いたものになる。

よって、求める体積は

$$\frac{1}{3} \times \pi \times 6^2 \times 8 - \frac{1}{3} \times \pi \times 3^2 \times 4 = 84\pi \text{ (cm}^3\text{)}$$

2 解答 1.  $a=5$  2.  $\frac{5}{12}$  3. 8秒後 4. 略 5. 男子 36人, 女子 24人

配点: 4点×5

1.  $\sqrt{180a} = 6\sqrt{5a}$

$\sqrt{5a}$  が自然数になるもっとも小さい数は  $a=5$

2. 大小2つのサイコロを投げたとき, 出る目は全部で36通り。

$a > b$ となるのは  $(a, b) = (2, 1), (3, 1), (3, 2), (4, 1), (4, 2), (4, 3), (5, 1), (5, 2), (5, 3), (5, 4), (6, 1), (6, 2), (6, 3), (6, 4), (6, 5)$  以上の15通り

よって, 求める確率は  $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$

3. 歩き始めてから  $x$  秒後に A 君の影の先端がちょうど C に到達するとする。

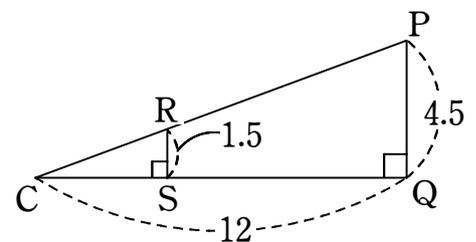
このとき, A 君を線分 RS とみると,  $\triangle CRS \sim \triangle CPQ$

あるから  $CS : CQ = RS : PQ$

よって  $(12-x) : 12 = 1.5 : 4.5$

これを解いて  $x=8$

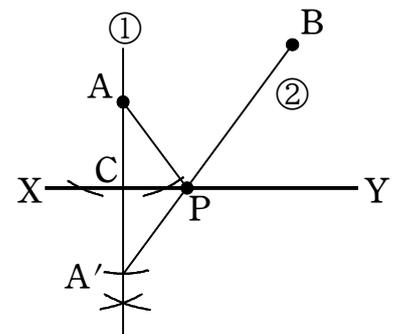
したがって 8 秒後



4. ① 点 A を通り, 直線 XY に垂直な直線をひき, この直線と線分 XY の交点を C とする。

② ① で作図した直線上に,  $A'C = AC$  となる点  $A'$  をとる。  $A'$  と B を結び, 線分 XY との交点を P とする。

このとき,  $\angle APX = \angle A'PX$ ,  $\angle A'PX = \angle BPY$  であるから,  $\angle APX = \angle BPY$  となる。



5. 男子の人数を  $x$  人, 女子の人数を  $y$  人とする

$$\begin{cases} x + y = 60 \\ \frac{55x + 60y}{60} = 57 \end{cases}$$

この連立方程式を解くと  $x=36, y=24$

$x=36, y=24$  は問題に適している。

答 男子 36人, 女子 24人

- 3 解答 (1) 21 (2) 14% (3) 中央値が含まれる階級は24m以上26m未満であり、太郎さんの記録23.5mは中央値より小さいため、25番目以内とはいえないから。

配点：(1), (2)：4点, (3)：中央値の階級 3点, それ以降の理由 3点

- (1) 最頻値は最も多いところなので、20m以上22m未満である。

階級値で答えるので

$$\frac{20+22}{2}=21$$

- (2) 記録が20m未満の生徒は $3+2+2=7$  (人)

全部で50人いるので求める割合は

$$7 \div 50 \times 100 = 14$$

よって、全体の14%

- (3) 中央値は全体のちょうど真ん中の値になる。

そこを求めると24m以上26m未満の階級が中央値になる。

4 解答 (1) 27000円 (2) ① 36冊 ② 略 ③ 28冊以上 配点：4点×4

(1)  $18000 + 600 \times 15 = 27000$  よって、27000円

(2) ① 40000円で $x$ 冊作成できるとすると、

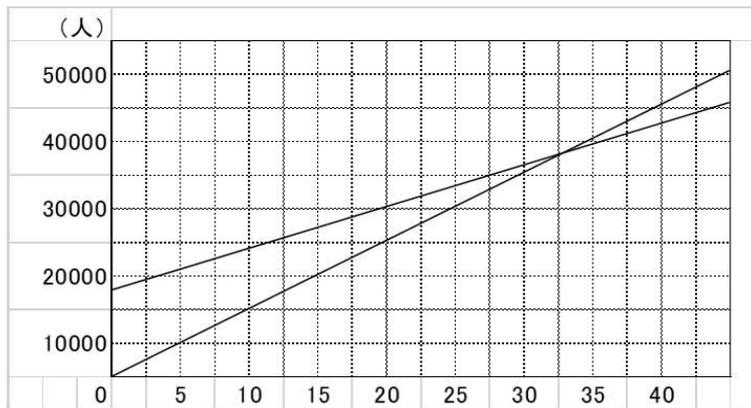
$40000 = 600x + 18000$ となり、この方程式を解くと

$$x = 36\frac{2}{3}$$

となる。

よって、最大36冊作成できる。

②  $y = 1250x$ のグラフを書けばよいので、下のグラフのようになる。



③  $x$ 冊作成したときに、両社の総費用が同じになると考えると、

$$1250x = 600x + 18000$$

この方程式を解くと、

$$x = 27\frac{9}{13}$$

よって、28冊以上作成したとき、B社が安くなる。

5 解答 (1) 略 (2) 距離： $\frac{24}{5}$ cm 辺AD： $\frac{14}{5}$ cm (3) 3：5 (4)  $\frac{21}{20}$ cm<sup>2</sup>

配点：(1) 4点 (2) 3点×2 (3) 4点 (4) 5点

(1) (証明)  $\triangle ABC$ と $\triangle FGC$ において

仮定より $\angle BAC = \angle GFC = 90^\circ \dots \textcircled{1}$

$\angle ACB = \angle FCG$ は共通 $\dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$ より

2組の角がそれぞれ等しいので

$\triangle ABC \sim \triangle FGC$

(証明・終)

(2) 点AからBCに垂線を引きBCとの交点をHとする。このときAHの長さが求める距離となる。

$$\triangle ABC \text{の面積を求めると } \frac{1}{2} \times AB \times AC = \frac{1}{2} \times 6 \times 8 = 24$$

また $\triangle ABC$ の面積は $\frac{1}{2} \times AH \times BC$ でも求めることができるので、

$$\frac{1}{2} \times AH \times 10 = 24 \quad \text{よって、} AH = \frac{24}{5} \text{cm}$$

四角形ABCDは等脚台形なので、 $AD = BC - 2 \times BH$ で求めることができる。

BHの長さを求める。 $\triangle ABC \sim \triangle HBA$ だから $AC : HA = AB : HB$ となるので、

$$8 : \frac{24}{5} = 6 : HB \quad \text{これより} \quad HB = \frac{18}{5}$$

$$\text{したがって、} AD = 10 - 2 \times \frac{18}{5} = \frac{14}{5} \text{cm}$$

(3)  $AH \parallel GF$ より

$$AG : GC = HF : FC = \left(6 - \frac{18}{5}\right) : 4 = 3 : 5$$

(4)  $\triangle EAD \sim \triangle ECB$ より、

$$AE : CE = AD : CB = \frac{14}{5} : 10 = 7 : 25$$

また、(3)より $AG : GC = 3 : 5$ だから

$$AE : EG : GC = 7 : 5 : 20$$

$$\triangle DEG = \triangle ACD \times \frac{5}{7+5+20} = \left(\frac{1}{2} \times \frac{14}{5} \times \frac{24}{5}\right) \times \frac{5}{32} = \frac{21}{20} \text{cm}^2$$